

製品名: TCP1 ベータ (4A10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18743**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	CCT2
別名	CCTB; 99D8.1; PRO1633; CCT-beta; MGC142074; MGC142076; TCP-1-beta;
遺伝子 ID	10576.0
SwissProt ID	P78371
免疫原	ヒト CCT2 の合成ペプチド

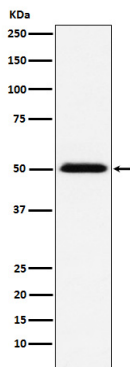
背景

分子シャペロン。ATP加水分解時のタンパク質のフォールディングを補助します。BBS/CCT複合体の一部として、繊毛形成に関与し、繊毛への小胞輸送を制御する複合体であるBBSomeの組み立てに関与している可能性があります。in vitro試験において、アクチンとチューブリンのフォールディングに関与することが知られています。ATP加水分解時のタンパク質のフォールディングを支援する分子シャペロン複合体であるシャペロニン含有T複合体 (TRiC) の構成要素です (PubMed:25467444)。TRiC複合体はWRAP53/TCAB1のフォールディングを媒介し、それによってテロメアの維持を制御します (PubMed:25467444)。TRiC複合体の一部として、繊毛形成に関与し、繊毛への小胞輸送を制御する複合体であるBBSomeの組み立てに関与している可能性があります (PubMed:20080638)。TRiC複合体はアクチンとチューブリンの折り畳みに役割を果たします (可能性が高い)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



MCF-7細胞溶解物中のTCP1 ベータ発現のウェスタン ブロット解析。